

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	観音寺市		地区名	観音寺市中心市街地地区			面積	53ha	
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	3,603.4百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	・道路:市道整備、・地域生活基盤施設:駐車場200台(地域交流センター)、地域生活基盤施設:駐車場150台(現市役所跡地) ・高次都市施設:地域交流センター								
	当初計画から削除した事業		提案事業	・事業活用調査:事後評価に関する調査								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	・地域生活基盤施設:駐車場150台(現市役所跡地)			関連事業で整備する方針となったため事業削除。			影響なし		
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	平成24年度～平成28年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地域交流センターのホール稼働率	%	43	H24	50	H28末	モニタリング	50	○	あり なし	市が一年を通して行う開館記念事業や、他主催者による様々なイベントなど多くの文化、芸術事業が実施されたことが考えられる。
	指標2	市内商店街の車両交通量	台	2,711	H24	3,500	H28末		3,967	○	あり なし	基本的には中央七間橋線の改良完了による効果が大きいものと考えられるが、交通量増加の要因として「市道整備」や「公共駐車場170台」整備、「地域交流センター」整備による効果も考えられる。
	指標3	歩行空間のバリアフリー化率	%	39	H24	42	H28末		45	○	あり なし	道路整備や歩道改良により、地域住民や来訪者が安全に歩ける歩行空間ネットワークの整備が図られている。
	指標4										あり なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	実施せず				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	実施せず				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築	柳町景観整備ガイドラインに基づく街路整備事業				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	まちづくりカンパニーと市民の主体的な活動にまかせ、市は後方支援に徹する。	

## 様式2-2 地区の概要

### 観音寺市中心市街地地区(香川県観音寺市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:本市の顔としてふさわしい、交流とにぎわいの創出及び安全性、生活利便性が充実したコンパクトなまちづくりを推進する。 ・目標1: 中心市街地における利便性の高い交流基盤の整備により、中心市街地の文化、芸術活動等の交流機能及び吸引力の向上を目指す。 ・目標2: 地域住民や来訪者が安全で利便性の高い空間の形成を図り、まちの回遊性向上を目指す。	地域交流センターのホール稼働率	単位:%	43	H24	50	H28	50	H29
	市内商店街の車両交通量	単位:台	2,711	H24	3,500	H28	3,967	H29
	歩行空間のバリアフリー化率	単位:%	39	H24	42	H28	45	H29
		単位:						

街路整備区間



地域生活環境基盤施



街路整備区間



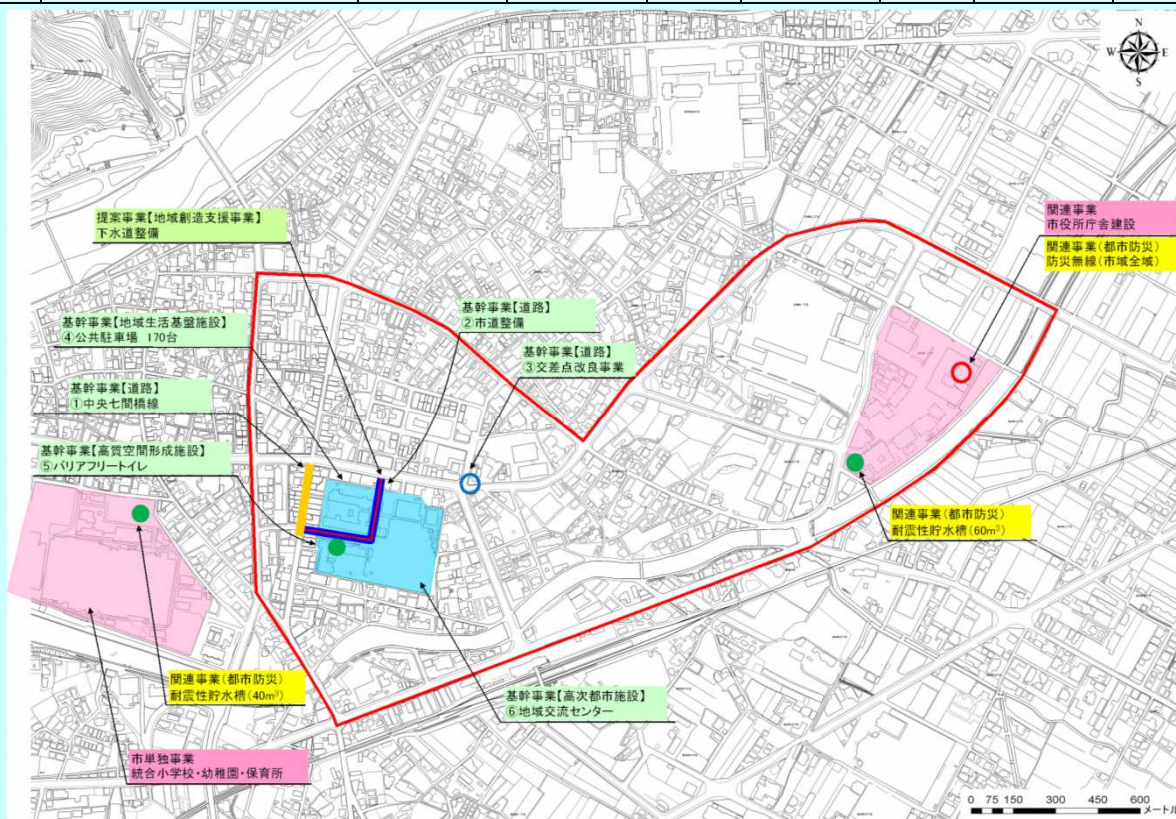
高質空間形成施



交差点改良



高次都市施設



#### まちの課題の変化

・中央七間橋線の整備や交差点改良により、中心市街地への吸引力及び回遊性は向上した。  
 ・市街地への吸引力向上に伴い車両交通量が増加したことから、今後は、地域住民や来訪者の安全・安心な歩行空間を確保するための歩道整備等が望まれる。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・中央七間橋線が全区間開通に向けて道路整備事業を進めていき、中心市街地の周回機能の向上に加え、安全・安心な歩行空間を確保する。  
 ・内環状道路における歩道未整備区間において、歩道設置や誘導タイル等歩行空間の整備により、地域住民及び来訪者が安全に歩ける歩行空間ネットワークの整備を図る。  
 ・さまざまな事業と連携し、来訪者との交流の場を整備するとともに、地域が主体となって交流人口の促進に努める。